

## SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社日本ビル管理

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																							
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内にて共有、実践している。	●		経営理念を明文化しており、朝礼での経営理念の唱和で、価値観やビジョンを日々共有している。理念の実現に向けて、創業理念・経営目標・事業部目標も明確にし、永続かつ持続可能な企業風土を醸成している。												8	9										17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		不正会計・長時間労働・顧客情報漏洩・違法労働契約・品質データ改ざんなどの法令違反がないよう、経営層で管理に努めている。全社員・従業員にも、全体研修でコンプライアンスの啓発を行っている。																						16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		企業及び事業の活動において、公正な取引に努め、事業部門長による管理体制を徹底している。営業活動の情報漏洩も不正競争防止法で禁止行為となるため、社内周知の徹底と営業活動情報の整備保管も行っている。															10								16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		中期経営計画や事業計画などの経営計画を作成し、経営目標を達成するための戦略立案と行動計画を立て、地域社会のニーズや環境の変化に適切でできる組織体制を構築している。																							16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		事業活動の中で生まれる知的財産について、積極的に保護および活用を図っている。また、他者の知的財産となりうるものを無断で公開や侵害をすることがないよう、社内ルールを定めており順守している。													8.2	8.3	9									
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		個人情報は情報漏洩がないよう、取扱責任者が一元的にデータ管理を行っている。データが紛失したり第三者が不正にアクセスすることがないよう、取り扱い管理ルールを策定している。																							16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		社会の情勢や環境の変化を把握し、地域社会と共生していくために、情報収集や取引先・社員従業員との対話を重視している。リスクコミュニケーションや日常的な相互の情報発信や意見交換に努めている。																							16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		ISO14001を取得しており、「外部及び内部の経営課題」や「社会からの期待」を明確にして各事業部に展開している。 【予定】2022年10月までに、ISO14001×SDGsを中長期戦略と位置づけ、自社の目標を「サプライチェーンとしての社会や環境活動へ貢献」として管理・展開を行う。					5								8		10		12	13	14	15	16	17		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		【予定】2022年1月末までに、環境ISO14001マネジメントにて、自然災害や緊急災害に対する事業継続計画(BCP)の策定を実施する。2022年6月にBCPの検証を行い、見直しを行う。															9		11			13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		年度と中期経営計画書を毎年7月に更新している。事業部繁栄計画書は毎年7月~10月にかけて検証と更新を行い、中期成長戦略を行っている。四半期に1回、社内と金融機関に財務報告を実施し、事業承継に関する検討・対策を行っている。														8	9									17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●					1	2																12	13	14	15	16

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社日本ビル管理

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		職場でのセクシュアルハラスメントや妊娠・出産等に関するハラスメント及びパワーハラスメントのことで悩んでいる方や、お困りの方への相談窓口を設置している。就業規則とガイドラインに定めており、従事者全体研修においても啓蒙活動を行っている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5					8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		労働安全衛生委員会を設置しており、毎月報告と安全だよりの情報発信を行っている。毎年産業医によるストレスチェックを行い、ストレスやメンタルヘルスのケアや管理と教育を行っている。			3						8.8											
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		全ての社員・スタッフが厚生労働省が定める同一賃金同一労働ガイドラインに沿い、不合理な待遇差が無いよう留意している。66歳定年後の継続雇用のスタッフにおいても同じである。					5.5				8.5			10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		非効率な業務の見直しと、朝礼を5分間に短縮し、終礼の廃止や就業時間の明確化を行い、サービス残業のゼロ化を行っている。管理職による社員スタッフの労働時間の把握と有給休暇取得の奨励を実施している。			3		5.5				8.5 8.8			10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		管理職・社員・スタッフ全員を対象に各種資格取得や外部研修の受講の奨励を行っている。 【予定】2022年2月までに人材育成計画を完成させ、各種資格取得や外部研修受講や社内育成向け教材購入等を推進する。				4	5.5				8	9										
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		経営層・管理職・社員・スタッフ全員を対象に毎朝体温・健康・体調チェックを行い、記録と管理を行っている。体調不良時は緊急連絡網を基に休息や休暇を取得できるよう、健康維持の管理を行っている。			3						8											17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		ハローワークを主体とした社員・スタッフの採用活動を継続しており、性別や年齢を問わず多様な人材が活躍している。外国人技能実習生が4名在籍している。 【予定】2022年7月までに優良企業の認定取得を目指す。				4.4	5.1 5.5				8.5			10.2 10.3							16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		出社しないと仕事が出来ない状況をハード面・ソフト面から見直しを行い、テレワークができる環境を整えている。社内環境の整備を進めている。			3						8	9.1		11	12							
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		印鑑・発行書類の管理保管方法を見直し、2021年1月より各事業部の発行書類保管の電子化を実施。今までエクセルやファイルで物理的に管理していた情報のIT化を実行するなど、DXに向けて取り組んでいる。									8	9.1		11	12							
21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●					3	4					8	9			12								

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社日本ビル管理

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。  
 (様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		ビルメンテナンスの業務で環境影響を評価し、環境目標を定め、管理の基準を順守して、継続的に改善をしている。 【予定】2022年6月に年1回の総合評価・結果に対して改善を行う。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1						
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		ISO14001:2015版の資料を基に電力・ガソリン・ガスの使用量を監視し、その削減に取り組んでいる。 ①電力:蛍光灯からLED照明に交換し、昼休憩時は全照明をOFFにしている。 ②ガソリン:全社員に対し、車両運転に関する安全と急発進、アイドリングストップ等の教育を行っている。 ③ガス:毎年6月~10月まではガスを止めて使用量を削減している。							7.3						13								
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		ISO14001:2015版の資料を基に室内機及び室外機の空調機簡易点検を年4回実施し異常がないか監視している。 【予定】2022年1月より、保有車輛の温室効果ガスの排出量の把握を実施する。CO2排出量計算シートを基に集計をする。			2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		使用している全ての洗剤等のSDSを確認し、使用方法及び廃棄する際の教育及び手順書の作成を実施している。						6.6									14	15					
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		弊社清掃管理物件からペットボトルキャップを収集し、回収業者に引き取ってもらい、「世界のこどもたちにワクチンを」に取り組んでいる。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15					
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		ISO14001:2015の一環で、本社及び管理現場での節水の教育を実施している。			2.4				6.1 6.3 6.4 6.6					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		コピー紙の裏紙使用や文具・事務用品等は、グリーン購入、リサイクル製品認証の物を購入している。										9.4			12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4							12.3		14	15			17	
	30	【緑の安全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		毎年、壁面緑化(ゴーヤカーテン)を行っており、社員全員で水やりや収穫を行い楽しんでいる。													11.6 11.7		13.1 13.3	15			17		
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		社全体でムリ・ムダの見直しを継続している。蛍光灯照明からLED照明に変更を行っている。ECOな天井塗装を行い、彩光も工夫し照明器具の総数を1/3に削減した。全窓ガラスに断熱ビニールを貼るなど身近なものから省電力への改善にむけて取り組んでいる。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●									6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●																12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●													9.4			11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●											7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2		

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社日本ビル管理

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具格的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		清掃業務の品質と安全性を高めるため、作業手順書及びリスクアセスメントシートの作成と教育を実施している。			3.9						9			12.4									
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		清掃従事者が使用している清掃資機材の見直しを行い、「より軽く・より簡単に」作業できる環境の整備を実施している。 (バッテリー式の資機材導入等を行っている。)									9.1	10	11.7									17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●				2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15				17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7						12.2	13.1		15					
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●				2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2			14	15				17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		事業所地域の自治会に寄付をしている。毎朝始業前に、事業所周辺のゴミ回収活動を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		年1回全体研修で各自治体で発行のハザードマップをもとに、地震・大雨・津波・高潮時の避難先・避難ルートを確認している。事務所への通勤ルートの提出を全員に義務付けている。				4							11.5		13.1				16				
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●			1.5		3	4						10.2	11.5		13.1				16	17		
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●											9		11	12	13.1							
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	【予定】2022年4月までに、SDGs実行委員会を立ち上げ、毎月1回普及啓発に向けた活動を行う。取引先や社員スタッフに向けてHPにSDGs普及啓発冊子「SDGsスタートブック」を掲載する。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●					4					8.6		10.2									17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	【予定】2022年1月より採用活動と会社HPの刷新を行い、県内の就職活動やUターン就職への促進に向けて自社の認知度・知名度を上げる。HPにSDGs宣言・経営や事業活動のチャレンジの見える化を行う。地元の若者を積極的に雇用している。				4.4				8.5 8.6												17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●				2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15				17	

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具格的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。